

ガバナンスの強化

アプローチ

味の素グループは、「ステークホルダーの意見を反映させる適切な執行の監督」と「機動的な意思決定と実行」を両立させる、実効的なコーポレート・ガバナンス体制の構築に向け継続して取り組んでいます。また、味の素グループ各社およびその役員・従業員が順守すべき考え方と行動のあり方を示した「味の素グループポリシー」を誠実に守り、内部統制システムの整備とその適正な運用を推進するとともに、ステークホルダーとの対話・連携を深めていくことが、ASVの土台となると考えています。今後も、味の素グループが将来にわたって競争力を発揮できる環境を整えるために、グローバルで強固なコーポレート・ガバナンスの強化・充実に努めます。経営計画の実効性を高めるために組織運営を改革し、協働によって事業における課題解決力を高めていきます。

具体例

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| ・ コンプライアンス | ・ 倫理規定や支払いの透明性 | ・ 規制や政策への影響力 |
| ・ 事故や安全性の管理 | ・ ITマネジメント | ・ 環境や社会の資産やオペレーションへの影響 |
| ・ 競争行動の適切さ | ・ 自然災害・疾病への対応 | ・ サクセッションプラン |
| ・ 知的財産の保護 | ・ システミック・リスクの管理 | ・ 経営の透明性 |
| ・ 政治的活動および政治献金 | ・ データセキュリティとプライバシーの保護 | ・ 人権とコミュニティへの関与 |

関連する機会とリスク(○機会/●リスク)

- | | |
|--|---|
| ○企業価値の向上 | ●金融危機、貿易摩擦等の不安定な政治・経済・社会情勢による組織運営への混乱や事業採算性低下 |
| ○適切なリスクテイク | ●知的財産リスクによる事業への影響 |
| ●コーポレート・ガバナンス、内部統制の機能不全に伴う事業継続リスク、予期せぬ損失の発生 | ●為替・金利の急激な変動による事業への影響 |
| ●脆弱なITマネジメント体制による競争力低下 | ●租税制度・税効果の変動による税負担増 |
| ●自然災害や疫病・パンデミック(新型コロナ、豚コレラ、鳥インフルエンザ等)の発生による操業停滞・停止 | |

味の素グループの主要な取り組み

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ・ グループ従業員全員への味の素グループポリシーの浸透 | ・ 労働安全衛生マネジメント |
| ・ ホットライン(内部通報制度)の整備 | ・ 「全社重要リスク」の選定とその対応策の検討 |
| ・ コーポレートガバナンス体制の強化 | ・ 知的財産リスクマネジメント |
| ・ 事業継続マネジメント(BCM)の強化 | ・ IT管理運用規程の制定による情報セキュリティの強化 |

貢献するSDGsのゴール

